

授業科目 運動学実習

【担当教員名】 大山峰生・大西秀明		対象学年	2	対象学科	作業・理学
		開講時期	前期	必修・選択	必修
		単位数	1	時間数	30
【一般目標：G10】 運動学の講義に基づき、視覚および各種計測機器を用いて身体運動を計測し、分析、記載する。					
【行動目標：SB0】 1. 体表から骨を触知できる。 2. 視覚により身体運動を分析し記録する。 3. 関節トルクを計測できる。 4. 筋収縮と関節トルクとの関係を説明できる。 5. 筋電図装置を用いて筋活動を導出できる。 6. 種々の身体運動を分析し、まとめることができる。					
回数	授業計画又は学習の主題	SB0 番号	学習方法・担当教員		
1	生体の観察、計測Ⅰ	1	実習	大山・大西	
2	生体の観察、計測Ⅱ	1, 2	実習	大山・大西	
3	関節トルクの計測	3	実習	大山・大西	
4	筋の長さと筋力との関係	4	実習	大山・大西	
5	筋収縮様式と筋力との関係	4	実習	大山・大西	
6	筋電図Ⅰ	5	実習	大山・大西	
7	筋電図Ⅱ	5	実習	大山・大西	
8	運動分析Ⅰ	6	実習	大山・大西	
9	運動分析Ⅱ	6	実習	大山・大西	
10	運動分析Ⅲ	6	実習	大山・大西	
11	運動分析Ⅳ	6	実習	大山・大西	
12	課題研究Ⅰ	1～6	実習	大山・大西	
13	課題研究Ⅱ	1～6	実習	大山・大西	
14	課題研究Ⅲ	1～6	実習	大山・大西	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書					
参考書		計測法入門	内山靖・他編集	協同医書出版	2001年 5500円
その他の資料					
【評価方法】 実習態度、レポート		【履修上の留意点】 受講にあたり、骨、筋、神経系を中心とした解剖学的知識が要求される。 Tシャツ・短パンの上にジャージ等を着用して授業に参加すること。			